

大黒湯

Daikokuyu
(東京都文京区)



外観

久しぶりに文京区の銭湯へやってきた。今回紹介する銭湯は大黒湯。丸ノ内線・茗荷谷駅から徒歩約7分のところにある。

本日は大雨警報が発令されていた。大変蒸し暑い一日である。しかし、大黒湯の脱衣室に入ると、冷房がキンキンに効いているのではないか。ふと壁に貼ってあるポスターを見ると、「クールシェア」というライフスタイルが提案されていた。銭湯へ来れば涼める。そしてその間は自宅のエアコンを使用しないで済むというわけである。

千代田区の銭湯は皇居を走るランナーが多数訪れることで知られているが、大黒湯にもランナーの客が多い。但し、大黒湯のランナーは必ずしも皇居を走るわけではないようだ。ご主人によれば、本日は教育の森公園の周囲を走るのではないかとのことだ。走った後の入浴はさぞかし爽快であろう。

大黒湯の浴室は八角形の湯気抜きが特徴的だ。なぜ八角形なのか。通常スタイルでは高さ制限に引っ掛かったのだろうか。詳細は不明である。

洗い場はシャワーヘッド付が13か所、シャワーヘッドなしが13か所、他にシャワーブースが2か所ある。浴槽は浅風呂と深風呂のコンビネーションで、深風呂が日替わり薬湯となっている。本日の薬湯は緑色の「玉露カテキン」だ。湯温であるが、浅風呂は44℃を示しており、かなり熱い。一方の深風呂も44℃を示しているが、こちらはかなりぬるめだ。

サウナは定員5人程度だろうか。室内温度は44℃とかなり低温であるが、それはスチームサウナだからだ。大黒湯によれば、スチームサウナはドライサウナよりも温度がはるかに低いので、体に負担が少ないのだという。水風呂はあまり冷たくないで、初心者向け

であろう。

本日は当銭湯愛好会の取材の他に、文京区のコミュニティバスの取材もあったようだ。文京区の銭湯を取材し、その映像をバスの中で放映するのだという。

それにしても大黒湯は雰囲気が良い。それはフロントに座る女将さんにご主人の人柄によるものだ。ランナーであれ、お年寄りであれ、女将さんにかなりお世話になっているようであるし、ご主人は当銭湯愛好会のために本日の宴会の場所まで推薦してくれた。その場所とは、茗荷谷駅前の「和来路」だ。

大黒湯は一度訪問するだけでももったいない銭湯であった。

- **名称**：大黒湯
- **所在地**：東京都文京区大塚 3-8-6
- **電話**：03-3941-5826
- **営業時間**：15：30～24：00
- **定休日**：月曜日
- **入浴料**：大人 450 円、中人（6 歳以上 12 歳未満）180 円、小人（6 歳未満）80 円、サウナ追加料金 100 円
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：未確認
- **取材日**：2013 年 8 月 6 日（火）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部